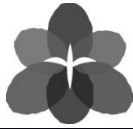


2020年10月30日

(幼保連) 認定こども園さふらん



# 園だより

## 11月号

### 11月の聖句

わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

マタイによる福音書 6章11節

「先生見てみて！」運動会でもらった縄跳びを“回してピュン”と1回跳んで大喜びの年中R君、年少さんはかけっこで芝生一周のカーブにも挑戦、みんな上手に走りました。年長さんはナーサリーの運動会でも係の仕事を受け持ちとても頼もしかったです。火炎太鼓のダンスも披露し、見ていたお家の方からの大きな拍手にとっても嬉しそうでした。さくらんぼさんは未就園児クラスのミニ運動会で玉入れやトンネルくぐり、ダンスも一緒に踊りました。

雨で翌日に延びた運動会、天候に恵まれ子どもたちの競技とダンス、係りの仕事も例年通り行うことができ、一人一人の頑張りが何よりうれしいことでした。ご家庭からお一人の参加にご協力頂き本当にありがとうございました。

運動会を終えた子どもたちは遊びにも活動にもとても意欲的で、それぞれの顔には自信が満ちています。

年中さんはお弁当を持って小山田緑地に遠足に行きました。たくさん遊んで「また行きたいよね！」

と大満足でした。年長さんは大型観光バスに乗って多摩動物園へ。アフリカ園とコアラ館も見て大喜びでした。

年少さんとさくらんぼさんはお天気の良い日に日向村に園バスで出かけます。

コロナ禍の中、例年通りには行かない現実を前に不安になったことも何度もありました。特に自粛期間は先の見えない未来に対して「待つこと」を余儀なくされました。時間に追われた日常が止まった時「命は人に与えられた時間である」と語った医師日野原重明先生の言葉が脳裏に浮かびました。時間が本来持っている豊かさと命にしっかり向き合わなければならないのだと気付かされました。

子ども達にとってはかけがえのない今を大切に生きて欲しいと切に願いつつ、大人がその責任をしっかりと担っていかなければと思います。

今月の聖句はイエスが祈りについて語った個所の一節です。教会の礼拝で「主の祈り」として唱えています。「あなた方の父は願う前から、あなた方に必要なものをご存じなのだ。だから、こう祈りなさい」とあります。

柿の葉も散り次郎柿の実も色付きもうすぐ食べ頃、秋の深まりと共に季節の移ろいを感じずる頃になりました。

ナーサリーだけの運動会、お家の方がいても、みんな泣かずに座っていてかけっこや競技も頑張りました。係りの仕事やダンスを披露してくれた年長さんの活躍も嬉しかったです。コロナ禍の中でしたが皆様の温かい応援もあり素敵な運動会になりました。本当にありがとうございました。

穏やかな秋晴れの中うさぎさんは消防署までお散歩、歩く子と避難車に分かれて出発です。途中交代しながら頑張って歩きました。道端の草や花に触れ蝶々を追いかけて、道草しながらのどかな時間になりました。

りんごさんは、秋を見つけに日向村まで園バスに乗って出かけました。どんぐりや木の実をいっぱい拾い山滑りにみんな大興奮でした。

木の実やドングリを使って何作ろうかなあ！絵具や粘土を使っているいろんな表現にチャレンジします。

例年、プレイデーはナーサリーも参加して作品展と製作や喫茶のコーナーやコーラス部の発表など土曜日の1日家族揃って楽しく過ごしていましたが、蜜になることから中止とさせていただきます。その代わり幼稚園も共に12日(木)子ども達だけでいつもと違った「素敵な日」になるよう計画します。作品はブログに掲載しますのでご覧ください。

これから寒い日も多くなります。コロナの収束も見えない中インフルエンザも心配されます。体調管理には十分気を付けていきましょう。

イエスが祈りについて語った言葉の一節が今月の聖句です。私たちはあまりにも多くのもを求めすぎています。「今日与えてください。」と祈る意味をかみしめたいと思います。

11月のナーサリーだよりから

園長 早坂 悦子